※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　総合探究

教科	総合探究	科目	(学)SUKIPROⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自に作成した教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

変化の激しい昨今の社会において、私たちはこれまでにない「未知の課題に対応する力」が求められている。総合探究では「自ら課題を見出し、自ら課題を解決する力」の育成を主軸に活動する。

この授業では主に１年間を通して「自ら見出した課題（自論）について、仮説検証を実践する」。また、適宜、情報収集・データ分析・研究倫理に関する講座を設け、自然科学及び人文科学的探究の質的向上を図る。

2　学習の到達目標

以下の内容ができるようになる。

（１）課題研究の実践に必要となる科学的知識及び情報機器の活用の技術が身に付く。

（２）専門家による講演会の実施などにより科学に関する興味・関心を持ち，基本的な原理・法則について系統的な理解を深め,自ら研究の質を改善させることができる。

（３）研究の進捗・成果・課題について資料を作成し、発表することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然科学及び人文科学的探究の意義・過程,研究理論の理解,また自身が取組む課題についての先行事例調査について基本的な知識・技能や,データ分析のための基本的な技能を身に着けている。また探究の成果や課題を資料にまとめ発表できる。	教科・科目の枠に捉われない多角的,複合的な視点で事象を捉え,適宜自身の取組について課題を見出して解決方法について修正・実践できる。	様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い，興味・関心に基づいて課題を設定し,粘り強く考え,協働的に行動し,課題の解決に向けてより良い方法を探究することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	課題研究(前期)	・自論に対する仮説検証の計画と実行 ・現状報告発表	a:自身の研究課題に関連する知識・技能の情報を適切に収集して、示すことができる。 b:研究課題に対して仮説を立て、条件統制を考慮した妥当な調査方法を計画・実行してデータを得ることができる。その成果・課題を資料にまとめ発表することができる。 c:仮説検証に必要なデータを協働して得ようとしている。	・レポート ・研究ノート	・レポート ・研究ノート ・研究状況報告	・レポート ・研究ノート ・研究活動状況
二学期	課題研究(中期)	・自論に対する仮説検証の計画と実行 ・中間発表	a:自身の研究課題に関連する知識・技能の情報を適切に収集して、示すことができる。 b:研究課題に対して仮説を立て、条件統制を考慮した妥当な調査方法を計画・実行してデータを得ることができる。その成果・課題を資料にまとめ発表することができる。 c:仮説検証に必要なデータを協働して得ようとしている。	・レポート ・研究ノート	・レポート ・研究ノート ・研究状況報告	・レポート ・研究ノート ・研究活動状況
三学期	課題研究(後期)	・自論に対する仮説検証の計画と実行 ・成果発表	a:自身の研究課題に関連する知識・技能の情報を適切に収集して、示すことができる。 b:研究課題に対して仮説を立て、条件統制を考慮した妥当な調査方法を計画・実行してデータを得ることができる。その成果・課題を資料にまとめ発表することができる。 c:仮説検証に必要なデータを協働して得ようとしている。	・レポート ・研究ノート	・レポート ・研究ノート ・研究状況報告	・レポート ・研究ノート ・研究活動状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度